仲良しになったよ

〝人と動物とのふれあい会〟

かわいい動物たちと思いっきりふれあおう――と先月8日、和納保育園で「人と動物のふれあい事業」なるものが行われました。これは、最近のペットブームで犬やねこを飼う家庭が増えていることから、動物との正しい接し方などを子供たちからもっとよく知ってもらおうと、動物愛護協会巻支部の主催で開かれました。この日は動物との接し方の話やビデオを使った飼い方のコツを見たあと、実際に優良犬とのふれあいも行われ、はじめは不慣れな動作の子供たちも終わりころにはすっかりなじみ、小犬やねこたちと楽しそうにたわむれていました。

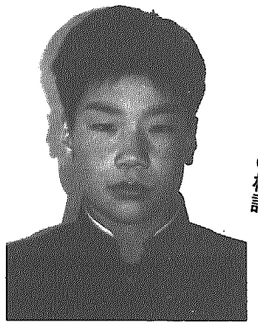
ぼくたちも特別参加

〝すばらしい音楽を体験してもらおう〟と先月十五日、打楽器を使ったクオーレ音楽鑑賞教室が村民体育館で開かれました。会場には村内の三小学校の児童が集まり、「悲しみよこんにちは」「おもちゃのシンフォニー」などの歌や楽器演奏を楽しみました。また参加コーナーでは子供たちも特別参加。

税金？よく分からないけど

「税に関する標語」で巻税務署長賞を受賞した藍澤亮くん（13歳）

「この社会あなたの税が生きている」をメインテーマに先月十一日から十七日までの一週間行われた「税を知る週間」。このPRも兼ね募集した税に関する標語に岩室中学校一年の藍澤亮くん（石瀬）が巻税務署長賞を受賞しました。「入賞だなんて信じられませんでした。学校の推薦で夏休みに考えたものを出しました。税金のことにはあまり興味がなかったのですが、標語みたいなものは前から好きでした。考えたのは入選したこの一点だけだったため、本当にうれしかったですね。この前も校内マラソン大会の標語が選ばれたので、これからも機会があったらどんどんいい作品をつくってみたいと思います」と藍澤くん。

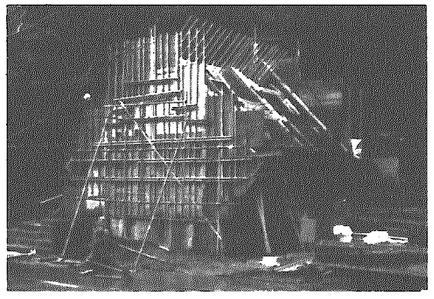


巻税務署長賞を受賞した藍澤くんの標語
税金は人がおりなす国づくり

お待ちください

丸小山公園に新しいトイレ

「せっかくいい公園があるのに、使いやすいトイレがなくて不便だな」――という声があった岩室の丸小山公園。みなさんの憩いの場として人気のこの丸小山公園にお待ちかね？の水洗トイレができます。広報でトイレの話題もなんですが、これまであった簡易トイレは、なんとなくイベント用のイメージで利用されるかたには大変ご迷惑をかけていたものですから…。新しいトイレは、鉄筋コンクリート造りのしっかりした建物で、デザイン的にも公園にマッチしているうえ、ちゃんとトイレと分かるもの。総工費も約七百万円とこちらもなかなかのものですね。



岩室ネットワーク

■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係（☎82－4111内線 215）へご連絡ください。写真をさしあげます。

いい顔、ありがとう

乳児健診から（11月16日）

このひと No.14

遠藤栄一さん（夏井）

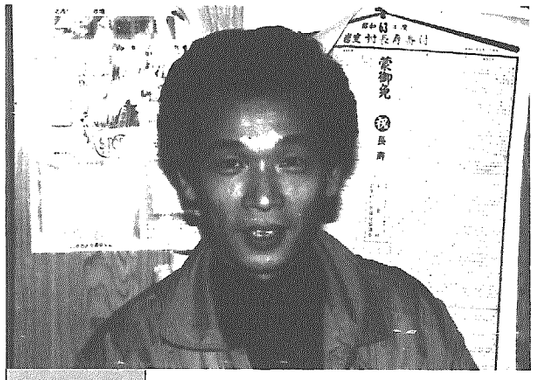
今月の「この人」は先月二十日、村民体育館で農業祭とタイアップして行われた綱引き大会で、村内各地区から参加した強豪二十五チーム（男性の部）の中でみごと優勝した夏井チームの監督――遠藤栄一さん（41歳）をご紹介します。

「優勝できて本当にうれしいですね。ことしは、昨年の屈辱をはらそうと早くから練習を始め、少しは自信があったんですが、決勝が終わるまでは本当に気が抜けませんでしたね」と満足そうに話す遠藤さん。

もともと〝綱引き〟といえば、運動会などでレクリエーション的に行う競技として大変親しまれていますが、この綱引き大会は、人数制限（一チーム十二人、うち競技者八人）と体重規制（競技者八人の合計体重が五百六十キログラム以下）などの本格的なルールの中で行われました。夏井チームは、遠藤さんらを中心に厳しい練習から生まれたチームワークと技を武器に初優勝を成し遂げました。そんなチームの監督である遠藤さん。「わたしは、まえに野球などの監督をやったことはありましたが、綱引きなんて運動会でやった程度でルールなんてわかりませんでした。ですから最初に監督に、といわれた時はとても不安でしたね。でもメンバーをみてそんな不安もすぐなくなりました。うちのチームは、昨年地区の野球部や青年部を中心としたメンバーで参加し善戦しましたが、津雲田チームとの対戦で負けてしまいました。ことしはその口惜しさを持つ人たちが中心に集まったチームですから、わたしが言いだす前に自然と練習をしようとの気運がでて練習が始まりました」とことしの活動状況を話す遠藤さん。

このように個々の盛り上がりが強かった夏井チーム。練習は稲刈りの終わる十月ころから始まり週二回のペースでスタートしました。「練習ではみんな本当に一生懸命でした。みなさん職業も違ううえ、帰り時間もまちまちですが、わたしが連絡をしなくても進んで集まって来てくれました。そんな力強いメンバーですから、練習中は一人ひとりが真摯に当たり勝つための工夫なんかもしてがんばりました。練習といってもほんの短い期間でしたがチームワークづくりと技術向上には目を見張るものがありました」とこれまでの練習の様子を話す。

こんなふうにチームワークのすばらしい夏井チーム。大会当日は遠藤さんを中心に各選手の活躍で順当に勝ち上がりました。そして決勝戦では昨年惜敗した津雲田チームとの対戦で、接戦の末みごと打ち破りました。「いやぁ、この大会で優勝するためにメンバーにはずいぶん苦労をかけました。とくに体重規制があるため減量してくれなどと言ったりして…。でもみんなよくやってくれたと思います」と勝利の陰にある苦労話？を話す遠藤さん。そして最後に「綱引きはチームの〝和〟がもっとも大切、選手同士の意志疎通がないとだめですね。その点うちのチームは最高でした」と実にうれしそうな遠藤さんから、優勝をみごとつかんだ夏井チームの〝和〟。それを創り上げたのは選手一人ひとりの協力とチームを率いた遠藤さんのすばらしい人柄と強く感じました。



厳しい練習から生まれたチームワークでみごと優勝をつかんだ夏井チーム。綱引きはチームの〝和〟がもっとも大切という遠藤さん。

■農業祭綱引き大会結果 〔男子の部〕❶夏井❷津雲田❸和納一区 〔女子の部〕❶和納六区❷和納一区❸岩室